

目 次

はじめに.....	1
第1部 運動教育	
——身体表現の位置づけ——	
第1章 人間の運動	5
(1) 人間の生活と運動.....	5
(2) 人間の全身的・基礎的運動.....	6
(3) 歩行の変化.....	6
(4) 人間の運動に変化をもたらす要因.....	8
第2章 身体運動の構成要因	9
(1) 身体・空間・時間・力.....	9
(2) 対立要因とエフォート・グラフ.....	10
(3) 身体表現としてのからだ（全身的運動・部分的運動）	13
(4) 身体空間.....	17
第3章 人間の行動と伝達	20
(1) 基本的な情動表現.....	21
(2) 対人相互の情動表現（2人の情動表現）（集団の情動表現）	22
(3) 遊戯的・仮想的な情動表現.....	25
第4章 世界の運動教育.....	26
(1) こころ・からだ.....	26
(2) ダンスと体操.....	27
(3) ヨーロッパとアメリカ.....	29
第5章 わが国の体育の実態から	31
——スポーツと体力——	

第6章 動きのコミュニケーション.....	33
(1) 1つの提案.....	33
(2) 動きのコミュニケーションの実践プログラム.....	34
a) 基本的・個人型	
b) 対人相互型	
c) 遊戯・仮想型	
第7章 結語	45
あとがき.....	48
付1：ルドルフ・ラバーン年譜.....	49
付2：参考文献.....	50
付3：図版目録.....	51
第2部 『身体表現』 ——運動と思考——	
expression corporelle mouvement et pensée	55
モニク・ベルトラン (Monique Bertrand)	
マチルド・デュモン (Mathilde Dumont)	
翻訳 竹内廸也	